

講師：リュ・ミンヒ(柳玟熙 / 류민희 / Ryu Minhee、弁護士)

ソウル大学社会学部経済学科卒。公益人権弁護士会「希望を創る法(Korean Lawyers for Public Interest and Human Rights)」創立メンバー。「民主社会のための弁護士会」少数者人権委員会・女性委員会委員。ILGA (the International Lesbian, Gay, Bisexual, Trans and Intersex Association) アジア地区理事。女性・障がい者・性的マイノリティなどの人権を擁護する活動を行い、2015年に韓国国内で初となる同性婚訴訟の弁護団幹事を務める。性暴力被害者の支援や、性的指向・性別アイデンティティによる差別の実態調査などに取り組み、国に対する政策提言を積極的に行っている。欧米や日本の事例にも詳しく、各国の弁護士や活動家との交流も深い。

司会：広岡守穂(中央大学法学部教授)

東京大学法学部卒、おもな専攻は日本政治思想史。現代日本の社会現象に幅広い関心を持ち、男女共同参画、NPO、子育てなどさまざまな分野で発言している。ゼミでは社会調査などの実践的な学びに取り組み、韓国でもゼミ合宿を行っている。著書『ジェンダーと自己実現』(有信堂、2015年)など多数。

中央大学文学部 主催

TAMA女性センター・中央大学法学部広岡ゼミ 共催

公開講演会

性的マイノリティと 男女共同参画 ・ 韓国の場合

日時：2016年5月7日(土) 午前10時～12時

場所：関戸公民館 大会議室

(京王線聖蹟桜ヶ丘駅前 ヴィータ・コミュニネ 8階)

通訳あり・入場無料・事前予約不要

市民の方の参加を歓迎します

この講演会は中央大学文学部プロジェクト科目「アジア共同体を考える——共に生きるための15のヒント」の関連企画です。